

LPガスCP情報(2017年1月積み)

1. 1月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン **435** ドル (前月比+55 ドル)

ブタン **495** ドル (前月比+75 ドル)

① LPガススポット市況等

LPガス市場をみると、原油・石油製品市況が高値で推移するなか、暖房需要期を迎えたのに対し中東生産各国の在庫低下でタイト感が強まった。特にブタンはスポット販売元が見当たらずプレミアム市況でプロパン・ブタン格差が拡大した。CP先物は続騰し、第4週にはプロパンで400 ドル を突破、ブタンはスポットで480 ドル に達した。極東CFR市況は第4週末にプロパン440 ドル 、ブタン490 ドル に続騰した。ナフサは高騰する原油市況に連れ高、月間平均は474 ドル 、前月比46 ドル の急反騰。バンカーオイルは、11月月間平均で325 ドル 、前月比48 ドル の大幅上昇。となった。

一方、米モンベルビュープロパンスポット価格(FOB)は、全米プロパン在庫が減少し原油市況の反騰を受けて急騰、290~345 ドル どころで推移した。

1月CPは前年同月比プロパン90 ドル 、ブタン105 ドル 上昇。原油(アラビアン・ライト)熱量等価換算では、前月に比べプロパン5ポイント、ブタン2ポイント低下、前年同月比ではプロパン26ポイント、ブタン28ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	25	25	27	33	27.5
CP先物指標:P	395	390	395	410	398
CP先物指標:B	435	450	455	465	451

② 原油市況等

WTIは12月51.06 ドル でスタート、11月30日のOPEC総会で8年ぶりに国別生産割当について合意され、10日には非OPEC主要生産国も協調減産に応じ原油市況は50 ドル の底値を固め高値で推移した。IEAは月報で2017年前半には需給均衡に向かうと指摘しているが、OPEC、非OPECの減産が遵守されることが前提。1月以降の各国生産量が発表されるまでは期待と失望でボラティリティも高まりそうだ。米国ではリグ稼働数が増加し生産量も回復基調にあり、在庫は超高水準。

一方、NYMEXのWTI総取組高は12月に入っても200万枚超を維持、大口投機玉の買越残高は12月20日時点で43.6万枚(過去最高水準)に達し、買建玉は60万枚を超え、売建玉は手仕舞い売りが進んだ。

○12月積みアラビアン・ライト(12月1~28日)は52.67 ドル (前月比+8.94 ドル)

熱量等価AL100% プロパン431.86 ドル/トン ブタン425.94 ドル/トン

AL比 プロパン100.73% ブタン116.21%

*上記アラビアン・ライトはEIN推計値、確定値は後日、Webサイトでご確認ください。

2. 2016年1月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
21~20日①	115.21	46,900	52,700	+5,900	+6,900
26~25日②	116.07	47,300	53,100	+5,800	+6,700
1~31日③	116.96	47,700	53,500	+5,700	+6,600

*TTS平均について、11月9日米大統領選トランプ当選によりリスク回避で円急騰、午前の106.07 円/ドル から103.22 円/ドル に修正された。上記平均為替レートは修正後のレート適用。

①が11月21日~12月20日、②は11月26日~12月25日、③は12月1~29日まで、①、②、③ともに1月仕切適用。①、②、③いずれも前月・当月CP50%案分。なお、各社の仕切はフレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。

*2017年1月から一部元売のプロパン仕切のフォーミュラ変更が予定されています。